

コメディカル 通信



ご存知
ですか？

臨床検査技師①



こんにちは、臨床検査部です。

臨床検査技師の主な業務内容は、医師の指導監督の下に患者さまの身体の構造や機能に関する様々な生理情報を調べることです。具体的には脳波や心電図、肺活量、エコー検査などの生体検査と、採取した血液や尿を調べる検体検査などがあります。

今回は採血と検体検査の仕事についてお話をしたいと思います。

(ある日の「検査採血」と「検体検査」担当者の1日です)

検査採血室では

8:30

採血室受付開始です

受付順に患者さまの採血管、尿コップ、ラベル等を準備し、名前を確認してから順番にお名前をお呼びして採血をします。



尿検査のある方にコップをお渡しし、右隣にあるトイレで尿を取っていただき奥の黄色の箱の中へ。至急の方はそのつどブザーを押して知らせていただきます。
混雑する午前中は、受付を含めて常時4～5人で採血をしています。

11:30

交代でお昼休み

この間は交代でお昼休みへ入るため、1～2人で採血しています。

13:30

午後の業務開始

午後になると患者さまの人数も減ってくるため、受付1人、採血者1人の体制をとっています。

16:30

入院患者さまが翌日に使う採血管を準備します。

17:15

終業

検体検査室では

8:30

検査の準備

朝一番に全ての分析機を立ち上げます。先に入院患者さまの採血と尿が届きます。採血管のラベルをバーコードリーダーで読み取り、検査室内の受付番号を書きます。



検体受付

採血管を検査別に仕分け、各分析機へ。



(生化学)
肝機能、腎機能、
血糖値など



(血液)
貧血など



(尿)
蛋白、尿糖、
潜血など

外来検体も順次受け付け、バーコードを読ませて前処理(遠心など)して、分析機にかけ検査します。

11:30

交代でお昼休み

必ず誰かは検査室に残り、至急の検査などに対応しています。

13:30

午後の業務開始

午後も外来検体、病棟検体を順次受け付け、検査します。一日の検体数は400～450件にもなります。

17:15

終業・・・ですが

休日・夜間も、日直・当直者が、365日24時間、緊急検査に対応しています。

出来上がった検査の結果を部内各部署の担当者がチェックします。急ぎの検査結果は各外来へFAXを送信して報告をしています。

患者さまには結果が出るまでお待ちいただいております。できるだけ早く、なおかつ正確なデータを出すよう頑張っています。

(臨床検査部 遠藤 光恵)